

海外経済

		2015年12月	2016年1月
世界経済		<p>世界の景気は、アジア新興国等において弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、原油価格等の下落の影響、地政学的リスク等について留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は回復が続いている。</p> <p>先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、金融政策正常化の影響、原油価格下落の影響、ドル高の影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アジア地域	中国	<p>中国では、景気は緩やかに減速している。</p> <p>先行きについては、各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれる。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>	(変更なし)
	その他アジア	<p>韓国では、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は弱い動きとなっている。インドネシアでは、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられる。タイでは、景気は減速している。インドでは、景気は内需を中心に緩やかに回復している。</p>	(変更なし)
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、一部に弱い動きもみられるものの、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
	英国	<p>英国では、景気は回復している。先行きについては、回復が続くと見込まれる。</p>	(変更なし)